## 安全に関するご注意

（ご使用に際して）

●ご使用の前に、『取扱説明書』をよくお読みのうえ正しくご使用ください。

（エアコンの使用対象について）

●このカタログに掲載のエアコンは、タイプにより対人専用以外のものがあります。これらについては、据付・ご使用上の注意を事前にご確認ください。

（据え付けに際して）

●据付けは、販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。●電気工事は電気工事士の資格のある方が「電気設備基準」「内線規程JEAC8001（最新のもの）」及び据付説明書に従って施工してください。漏電遮断器（インバーターの場合は高調波対応品）を必ず設置してください。取付けられていないと感電、火災の原因になることがあります。●各種別売品は、必ず当社指定の製品を使用してください。また取付工事は、販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で工事され、不備があると水漏れ、感電、火災の原因になります。

（冷媒について）

●当社が指定する冷媒以外を封入することは、絶対に行わないでください。封入冷媒の種類については、機器付属の取扱説明書あるいは機器本体の銘板に記載されています。それ以外の冷媒を封入した場合の誤作動・故障につきましては、当社としては一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

## エアコン設置に際してのご注意

**●切削油など鉱物油の立込める雰囲気の場所へは据付けないでください。（工場用エアコンは除く）**
一般のエアコンでは工場での油の飛沫や雰囲気のたちこめる場所では、油が熱交換器に付着し、熱交換不良による霧の発生、合成樹脂部品の変形破損、熱交換器の腐食、断熱材のはく離などをひきおこすことがありますので、設置を避けてください。

**●酸性またはアルカリ性雰囲気の場所へは据付けないでください。**
酸性またはアルカリ性（温泉地帯の硫化ガスの多い場所、燃焼器の排気を吸込む場所）など、一般の雰囲気と異なる場所には熱交換器等に腐食を起す恐れがありますので、設置を避けてください。（海岸地帯の潮風が直接当たる場所では耐塩害仕様室外機の設置をお勧めします。）

**●可燃性ガスや引火物のあるところへは据付けないでください。**
可燃性ガスの発生、流入、滞留、漏れの恐れのある場所やカーボン繊維が浮遊する場所は避けてください。

**●この他、電圧変動の多いところへの設置は避けてください。また、車両、船舶への設置はできません。**

**●ヒートポンプ式暖房機の特性としては、外気温が下がるにつれて暖房能力も低下します。寒冷地など、特に寒気の厳しい地域では能力が不足することがありますので、お買い求めの際には、販売店とよく相談のうえ機種を選定してください。**

**●サーバールームなどの年間冷房用途に使用される場合は専用のエアコン（年間冷房中温形、電算機用エアコン）をお使いください。その他のエアコンを年間冷房用途に使われますと外気温が低い場合に能力不足となる恐れがあります。**

**●恒温恒湿用途に使用される場合は専用のエアコン（年間冷専恒温恒湿用）をお使いください。その他のエアコンを恒温恒湿用途に使われますと温湿度保証ができないおそれがあります。**

**●設備用エアコン床置形「機内洗浄可能タイプ」は、周囲に水がかかってはいけない場所へは据付けないでください。**

**●据付・サービススペースは必ずお守りください。**

### 積雪地域でのご使用について

積雪地域への室外ユニットの据付けの場合は次のような処置をしてください。

■降雪に対して…室外ユニットの空気吸込口をふさいだり、雪が入り込んで内部で凍結しないよう防雪フードを設けてください。

■積雪に対して…多雪地域では積雪により空気吸込口をふさぐことがありますのでその地域の積雪量に応じて、予想される積雪量より50b以上高い高さの架台を室外ユニットの下部に設ける必要があります。

### 室内機の洗浄について

熱交換器が汚れている場合、運転不調および吹出口からの霧吹き、水飛びの恐れがあります。室内機の内部洗浄には専門の技術が必要ですので販売店にご相談ください。

## アフターサービスについて

**●無料修理保証期間（1年）経過後の修理について**
販売店またはダイキンコンタクトセンターにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

**●補修用性能部品の保有期間について**
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。
当社は、このエアコンの補修用性能部品を製造打切後9年保有しています。

**●保守点検契約のおすすめ**
エアコンを数シーズンご使用になると内部が汚れ、性能が低下することがあります。
分解や内部清掃には専門の技術が必要ですので、通常のお手入れとは別に保守点検契約（有料）をおすすめします。

**●点検と保全周期の目安について**
［保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。］
【表1】は次の使用条件が前提となります。
①頻繁な発停のない、通常のご使用状態であること。
（機種によりことなりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回／時間以下を目安としています。）
②製品の運転時間は、10時間／日、2500時間／年としています。

【表1】「点検周期」および「保全周期」の一覧（工場用エアコンの場合）

| 主要部品名 | 点検周期 | 保全周期［交換または修理］ |
|---|---|---|
| 圧縮機 | 1年 | 20,000時間 |
| 電動機（ファン、ドレンポンプ用など） | | 20,000時間 |
| ベアリング | | 15,000時間 |
| プリント基板類 | | 25,000時間 |
| 熱交換器 | | 5年 |
| ファン用ベルト | | 5,000時間 |
| 膨張弁 | | 20,000時間 |
| バルブ（電磁弁、四方弁など） | | 20,000時間 |
| センサ（サーミスタ、圧力センサなど） | | 5年 |
| ドレンパン | | 8年 |
| リモコンおよびスイッチ類 | | 25,000時間 |

注1.本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2.この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。

**下記の項目に適合する時には、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。**
**①温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。**
**②電源変動（電圧、周波数、波形歪みなど）が大きい場所でご使用される場合（許容範囲外での使用はできません。）**
**③振動、衝撃が多い場所に設置され、ご使用される場合。**
**④頻繁な発停のある場所、運転時間の長い場所。（24時間空調など）**

**●消耗部品の交換周期目安について**
［交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。］

【表2】「交換周期」の一覧（工場用エアコンの場合）

| 主要部品名 | 点検周期 | 交換周期 |
|---|---|---|
| ロングライフフィルタ | 1年 | 5年 |
| オイルミストフィルタ | | 5年 |
| ヒューズ | | 10年 |
| クランクケースヒータ | | 8年 |

注1.本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2.この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。

**詳しくは、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにご相談ください。なお、当社が指定した業者以外による分解や内部清掃に起因する故障については、保証対象外となることがありますのでご注意ください。**

**●移設および廃棄について**
○転居などでエアコンを移動再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにご相談ください。
○平成14年4月以降に業務用エアコンを廃棄する場合は、別途「フロン回収破壊法」に基づく回収・運搬・破壊費用が必要となりますので、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにご相談ください。

**●ご不明の場合は**
アフターサービスについては、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターに相談ください。

登録事業者：
ダイキン工業株式会社　空調生産本部
登録活動範囲：
業務用空調・加熱・冷却及び冷凍機器、暖房機器、住宅用空調機器、全熱交換器、空気清浄機、圧縮機及び弁類の設計・開発及び製造。
JMI-0107

ダイキングループは、国内全事業所と国内全子会社で環境マネジメントの国際規格ISO14001の認証を取得しています。
EC99J2044

「エコ・ファースト制度」は、業界のトップランナー企業が環境大臣に対して自らの環境保全に関する取り組みを約束する制度です。
ダイキン工業は空調業界で初めて「エコ・ファースト企業」の認定を受けました。

### 修理依頼、製品・技術に関するお問い合わせ、部品のご購入などは

電話番号をよくお確かめのうえ、お掛け間違いのないようにお願いします。

**24時間365日、安心つながる。**
お客さま総合窓口　ダイキン コンタクトセンター

お電話から　全国共通フリーダイヤル　0120-88-1081
最初に 186 をダイヤルしていただくと折り返しの連絡等がスムーズに行えます。

FAXから　FAX 専用フリーダイヤル　0120-07-0881

WEBから　http://www.daikincc.com

ダイキンHVACソリューション東京株式会社 ……（03）3374-5101
ダイキンHVACソリューション近畿株式会社 ……（06）6647-1377
ダイキンHVACソリューション東海株式会社 ……（052）955-0721
ダイキンHVACソリューション中四国株式会社 ……（082）261-7182
ダイキンHVACソリューション九州株式会社 ……（092）475-6204
ダイキンHVACソリューション北海道株式会社 ……（011）784-5556
ダイキンHVACソリューション東北株式会社 ……（022）288-0222
ダイキンHVACソリューション新潟株式会社 ……（025）284-7181
ダイキンHVACソリューション北陸株式会社 ……（076）249-1233
ダイキンHVACソリューション沖縄株式会社 ……（098）859-4154

（平成23年 4月 1日現在）

●このカタログは2011年5月現在のものです。
●このカタログに掲載の仕様は改良のため予告なしに変更する場合があります。
●印刷条件により製品色が実際と多少異なる場合があります。
●お買い求めの際は、販売店より必ず保証書をお受け取りください。
●このカタログについてのお問い合せは、お近くの販売店または上記へおたずねください。

**ダイキン工業株式会社　空調営業本部**
本　　社　〒530-8323 大阪市北区中崎西二丁目4番12号　梅田センタービル
東京支社　〒108-0075 東京都港区港南二丁目18番1号　JR品川イーストビル

「ダイキンエアコン」ホームページアドレス　http://www.daikin.co.jp/aircon/

CP09226K（11.05.030）SW・KY・SS